

かもがわ市民会議第 3 回会議 アンケート結果

1. 会議開催日時

令和 2 年 9 月 12 日 (土) 13:00~16:00

2. 回収状況

○会議出席者数：57 名

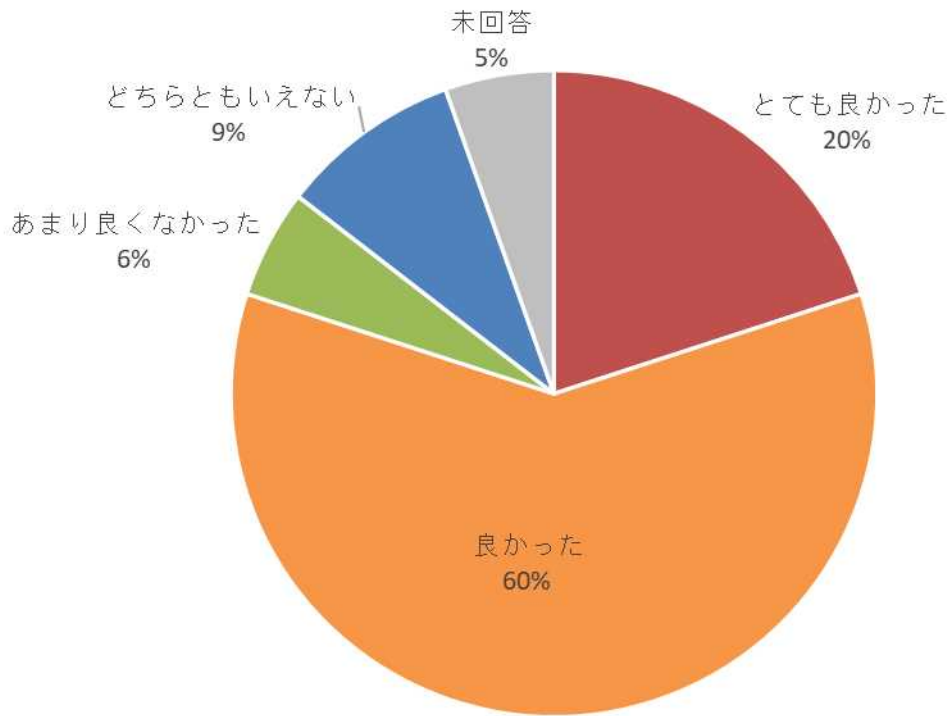
○アンケート回収数：55 部

回収率：96.5%

3. アンケート集計結果

Q1 第 3 回の市民会議に参加してみていかがでしたか。

Q1 第3回の市民会議に参加してみていかがでしたか。(n=55)



Q2 ナビゲーターの講話内容に対する感想等をご記入ください。(第 2・3・4 分科会のみ) 一部抜粋

< 第 2 分科会 >

○視点を広げるきっかけになった(3 万人 70 万人として考える、強みは弱みにもつながるが、そこから考える、 亀田産業とも視野に入れることが大事)。鴨川市のコンパクトシティ構想も少し説明いただけると嬉しい。

○弱みは時として強みになるという発想に感動しました。話も分かりやすく、お話を聞いてとても良かったです。他のナビゲーターのお話も聞いてみたいです。

< 第 3 分科会 >

- マドレボニータという団体があることを初めて知った人も多いと思う。鴨川では、もしかしたらニーズは高くないかもしれないが、これに準ずる団体や活動があると助かる妊産婦がいると思う。子育てを終えてしまった私が振り返って、自分は環境に恵まれていたと思う。自分が恵まれていたと思う部分を今の人に協力出来たら良いと思った。父親学級だけでなく、パパママ学級で、産婦や育児の情報を両親で共有・実感できる機会を増やして、ぜひ、楽しく幸せに子育てしてほしい。
- 産後ケアの必要性を感じた。2年前に教え子の女の子が産後うつで自殺してしまった。出産を控えた家庭を孤立させない。結婚したことは知っていたが、その後の連絡（声掛け）を欠いていた。マドレボニータの調査（アンケート）で48%が産後うつになると聞いて、沢山の若夫婦に声掛けが今更ながら必要であったと反省する。

<第4分科会>

- 他の地域の防災の話を聞くことが出来て大変勉強になりました。行政に頼るだけでなく、自助・近所・共助の部分も力をつけて、いざという時に備えたいと思いました。まずは自分にできることから準備していきたいと思います。
- とてもいいお話が聞けました。ここまで災害の対応をしている市は少ないと思います。日頃から行っていなければ急にはできないことを本当に痛感しました。まずは自分で出来ることから始めたいと思います。

Q3 ご自身が参加している分科会以外のテーマについて、ご意見などがあれば記入してください。

一部抜粋

<第2分科会>

- 最近、道路の端にブルーの矢印が記されている。これは、自転車走行レーンと思われるが、そうであれば早急に情報を明記する必要があるのでは。自動車を運転していても危険になるのでは。
- 災害時に重要な交通網がやや弱いかと考える。相互に考える必要があるのかも。交通網の整備は、他市・他県との競争を勝ち抜くための大きな要素（周遊ルートの設定、企業誘致など）。

<第3分科会>

- 医学部設立（亀田医療大学など）を目指すと、鴨川に残る人が増えるのでは。
- 進学校（高校・大学）が鴨川市内にあれば鴨川に残る子育て世帯も増えるのでは。

<第4分科会>

- 海岸近くのリゾートマンションに居住しているが、津波時の防災訓練を行いたいが、参加者が集まらないため、いざという時が非常に心配をしている。マンション管理組合や市役所に頼り切っている感じがする。
- 待崎川の近くに住んでいた。川がいつ氾濫するのか情報がなく不安だった。防災メールなどで基準を配信できないか。
- 昨年台風15号の断水については、山の簡易水道があったので市水がなくても不自由しなかった。未利用の井戸を利用する方法もあるのではないか。（飲用できれば尚可）
- 災害時に重要な交通網がやや弱いかと考える。相互に考える必要があるのかも。交通網の整備は、他市・他県との競争を勝ち抜くための大きな要素（周遊ルートの設定、企業誘致など）。再掲

<その他>

- 鴨川市でも、高齢独居、認知症になっても安全安心に暮らせる、金銭管理も含めた包括支援システムの拡充が大事だと思います（木更津市では出来ていそうです）。
- コミュニケーションについては、苦手な人に対しても考えるべきと思う。

Q4 次回以降の市民会議に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。 一部抜粋

<全体共通>

- この市民会議は、市長が旗振りだと思います。来年3月に市長選挙がありますが、違う方が市長になった場合、この会議はどんな位置付けになるのかとふと思ってしまいました。トランプ大統領みたいにオバマ前大統領の進めてきた方針がなかったことに用になったら少し寂しい。総合計画審議会が、この市民会議について討論していただき、「話し合い」をしたことが他の人達の目に触れて、その感想もいただきありがとうございます。
- 自分の考えを述べたまでですが、隣の席の方から「論点がずれている」と指摘を受けました。正直、いい気はしませんでした。全く違う話をした自分が悪いのだとは思いますが、急に意見を求められ、人から指摘されるのはどうにかなりませんか。あと、他人の意見をへし折るような方がいらっしゃいます。人それぞれ、考えがあると思うので、他人の意見を尊重してほしいと思いました。
- 子どもを預けるので、出来れば水道局ではなく市役所内の会議室がよかったです（雨天もあるため）。鴨川市の今の計画は「観光・スポーツ立市鴨川」で進んでいるのでしょうか。次の計画はどのように定めて、鴨川市民3万人を引っ張って行って下さるのでしょうか。鴨川市がこれから100年先に向かって目標を持って力強く、仲良く楽しく生きていくためには、市民みんなでその一番の道しるべがなく生きていけません。鴨川の大自然・文化歴史が消滅してしまいます。もっと市民全体に向かって懐を広げて市民を信用して問うたらどうでしょうか。選抜100人では市民会議とは言えないと思います。

<第1分科会>

- 市民として仕事づくりに関わる活動をしようとする場合、市行政との協力も必要ではないだろうか。これについての研究も大切にしたいと思うのですが。

<第2分科会>

- 生活を支える交通については、災害・非常時の視点の議論、提案は欠かせないと思う。
- 市民の今の悩みを取り上げると、意見でスクールバスの利用が出たが、交通は色々な規制のクリアが必要だということが見えてきました。
- 具体的にモデル事業になっている、長狭オンデマンドタクシーの利用範囲を広げ、路線バスと連携させるモデル事業に出来ないかも含めて、オンデマンドタクシーと路線バス・コミュニティバスの連携の具体的なモデル計画を出してみるのはいかがか。実現できる出来ないは別にして、可能性は広げましょう。
- せっかく事前に資料の2層協議体立ち上げはとて素晴らしい活動だと思われたが、何も触れず残念だと思う。

<第3分科会>

- 前半は情報発信の時間のように、課題が捉えにくく、構築性が感じられなかった。今回「あだち子育てガイドブック」を拝読し、使いやすそうだと感じた。情報提供について、必要とするであろう側に、妊

娠・出産などの機を捉え、行政は提供しているはずである。ふれあいセンターにもポスターがある（と思う）。必要としている人がその情報を実は手に入れているのに、使う手段を見いだせずにいるのかもしれない。大型スーパーなど、老若男女が出入りするところに情報（ポスター・パンフ）を置かせてもらうとかは難しいことなのではないでしょうか。行政が提供しているもの、今のものでもかなり支援が充実していると思います。という現状を知ることが出来た機会でした。

- 子どもの育て方、産後の赤ちゃんについて色々な情報が入手できる世の中ですが「これはこうするのがいい」「みんなこれはこうしている」みたいな情報を知れば知るほど大変になる。私は適当なので「ま、いいか」でやってきてしまったけど、それでも子どもは育ったし、そういうのを若い職場の後輩には話すようにしている。人の助けが必要な時があるので、子どものために自分が大人になって、親として勇気を出して、一歩踏み出さないと、若いお母さんに話していこうと思います。おせっかいおばさんも時には必要かもしれない。
- 子育て（妊娠から出産 6 か月まで）のサポートが充実しているのに感心しました。次回は幼児期のフォローを話し合えたらと思います。
- 子育てに当たり、妊娠～出産にかけての実態を再認識した。男性にできること、理解して行動することが大切だと感じた。一方、子育ては女性の側からの視点がほとんどで、男性側からの視点が欠けているようにも思えた。長期的に見て、大切なことを問題提起できればと思う。
- 産後ケア、産後うつ予防 etc について、メインは共助・公助かと。自治体によって or 利用者によって、欲しいサポートの質や種類は様々のよう（子どもの支援、親の支援、家事代行的な支援）なので、全てをカバーするのは大変なんだなと思いました。
- 家庭内で父親がやるべきことがあるのに実際やっていないという実態。母親がさぼったらネグレクトと言われるようなことを父親がやらなくても責められないのだから日本の問題かも。昔はそれでもよかったけど。
- 現在の経済状況では、出産に関する負担がゼロになるような補助が必要だと思います。

< 第 4 分科会 >

- 成功事例を佐木さんから聞いて驚いた。音頭を取る方がいることがスタートになると思った。若年世代と中高年世代は地域コミュニケーションに温度差（必要としている、積極的ではない）がある。

「 」は傍聴者意見

Q3、Q4 について、個別の施策に関するご意見等は別途事務局へ報告しています。

かもがわ市民会議第3回 アンケート結果（傍聴者を除く）

出席者数 57名
回収枚数 55枚
回収率 96.5%

Q1	第3回の市民会議に参加してみたいかがでしたか。	回答数	割合
1	とても良かった	11	20.0%
2	良かった	33	60.0%
3	あまり良くなかった	3	5.5%
4	良くなかった	0	0.0%
5	どちらともいえない	5	9.1%
6	未回答	3	5.5%
	合計	55	